

# 松戸市シルバー人材センター はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第52号

## 会員数

男性 1,645人

女性 438人

2,083人

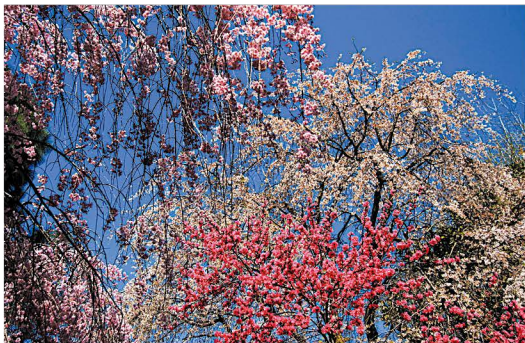
平成28年3月末現在

## 編集・発行

公益社団法人  
松戸市シルバー人材センター  
〒271-0043  
松戸市旭町1-174  
TEL 047(330)5005  
FAX 047(330)5008

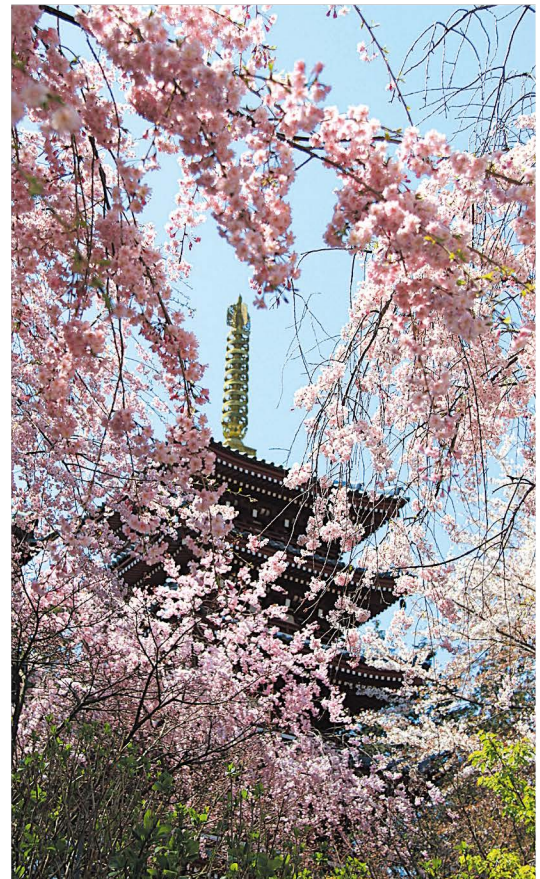
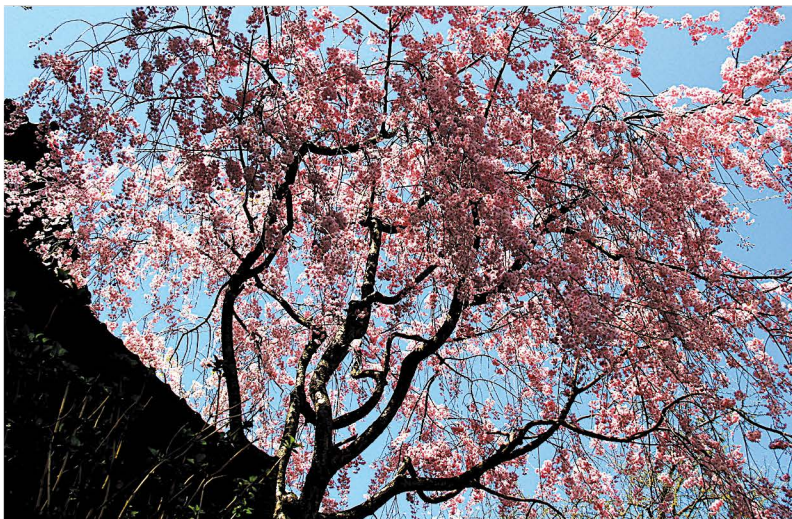
松戸市シルバー人材センター  
ホームページ  
[www.matsudoshi-silver.or.jp](http://www.matsudoshi-silver.or.jp)  
E-mail [matsudo1@sjc.ne.jp](mailto:matsudo1@sjc.ne.jp)

発行 平成28年5月1日



—シリーズ・  
松戸の四季—

春彩  
本土寺



## まずは、健康と 生きがいが一番



理事長  
龍谷 公一  
たつや きみひと

新緑の候を迎え、市民の皆様はじめ会員及び役職員の皆様、そして関係諸団体の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より一方ならぬご支援、ご協力に預かりまして誠にありがとうございます。

シルバー人材センター理事長の龍谷でございます。

昨年の6月に就任致しましたが、皆さんのご指導、ご協力をいただきましてどうやら無事に1年が経過するところでございます。

さて、近年では人口構造等の変化によりまして生活環境も大きく変化しております。特に人口減少や少子化の問題では労働人口が減少していくことが危惧されております。国では、環境の変化に合わせた新しい高齢者像として生涯現役で活躍できる働き方を検討されております。

現在のシルバー人材センターに対する私のイメージとして、二つの組織形態が

存在すると考えております。一つは会員の皆さんに就業の機会を確保し提供するという労働的な組織と、もう一つは会員の皆さんが地域の中で積極的に自分の能力を活かして働きながら、その中に生きがいを見つけ健康を維持していくという福祉的な組織であります。もともとシルバー人材センターは失対事業と高齢者事業、労働と福祉の接点として設立されておりまして、どちら側とも分かりづらい組織の位置づけとなつていて感じております。現実的には、高齢年齢を迎えた皆様の働き方として、生活のための就業等と健康や生きがい等のための就業等がございますが、ともに生活費や健康の自立を可能とすることや仲間づくりや社会的交流により心を豊かにするという、どちらも高齢者が就労する中で重要な目的の一つであると考えております。また、就業の内容としても各地域の会員さんが地域の中で自主的に或いは共助的に行うもので、地域コミュニティを活力あるものにする活動であり、生きがい就労や健康を維持していくことにもつながるものと考えます。

業ニーズの変化・職域開拓の促進や人手不足の分野におけます職域拡大等、機能強化を図り、会員の皆さんの仕事を地域のなかで結びつける組織としての役目であり意義があると思っております。

今後、シルバー人材センターの発展のため、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、暑い夏がやってきますので水分補給等を十分、まずは健康第一でございますのでお体にはご留意していただき、お元気に過ごされることを祈念しております。

## 事務局職員の仕事



常務理事兼  
事務局局長  
古宮 清三

会員の皆さん、事務局職員がどのような仕事をしているかご存じですか。いくつかある中で主なものを紹介すると、お客様からの注文の受付と、受け付けた仕事を会員の皆さんへご紹介することです。毎週月・金の朝8時30分から午後5時まで、毎日ほとんど同じ仕事をしています。

一見ルーティンに見えるかも知れませんが、注文の仕事

も様々であり、うまくさばかなくてはなりません。また仕事を会員の皆さんにお願いするにしても、スムーズにいかない時もあり、苦労することもあります。時々クレームも入ります。月末から月初にかけては皆さんから提出された就業報告書の入力に追われる日が続きます。職員は本当に一生懸命仕事をしています。

しかし毎日日々同じ姿を見ていると、これで良いのだろうかと思うことがあります。人事異動というのもありません。ずーっと同じです。自分の仕事のやり方を確立している職員もいます。人間関係が悪くなければ最高かもしれませんが、しかし時代が変化すれば、仕事の内容もやり方も変えなければ時代遅れになります。昔のままでよければ、一度覚えれば、あとは何の努力も要りません。毎日同じようにやれば良いだけです。慣れとは恐ろしいものです。新しいことに対する意欲が失せてくるだけでなく、昔ながらのことへのこだわりも出てくるでしょう。

シルバー人材センターは公益社団法人といっても、一般の公益社団法人と同じではありません。法律で特別の位置づけがされている団体です。

多くの高齢者に就業機会を提供することにより、高齢者の福祉の増進という公共の福祉に資することを目的とする団体です。民間団体というより準公共団体といってもいいかもしれません。事務局職員もシルバー人材センターの意義を十分に理解し、一つでも二つでもセンターに貢献できるような気概を持ち、日々の仕事に臨むことができればと思います。

時代変化の一つとして会員の平均年齢が73歳になつていきます。2年前は72歳だったので毎年0.5歳上がつていきます。このようななかで、年齢に見合った就業開拓をしなければ、会員数もどんどん減っていくでしょう。60歳代前半の会員さんは極めて少なくなつていきます。このまま手をこまねいていたら、今までできていた仕事も段々こなせなくなつてくるでしょう。会員も減る、仕事も減る、事務局職員も要らなくなります。そうならないためにも、事務改善はもちろんのこと、いつもながらの事務仕事に満足せず、センターの諸課題にも目を向け、新たな仕事に取り組めたいと思います。

徒然になりました。職員の仕事の紹介が少し逸れてしま



事務局長補佐  
鈴木 暢

## 趣味はサッカー

いまして、皆さん、これからもよろしく願います。

私は平成10年4月に松戸市シルバー人材センターに採用され、今年で19年になります。シルバー人材センターの職員として、会員の皆様の丁寧な仕事ぶりとお心遣いにより、私自身が支えられていることにとても感謝しております。

さて、私の趣味について、少しでもお話しさせて頂きます。私は週末になると、サッカーに明け暮れております。現在中学校の外部コーチとして、サッカーの楽しさを伝えながら活動をしています。

今後も生涯スポーツとして関わり、クリエイティブで魅力あるサッカーを伝えられるように続けていきたいと思っています。



主幹兼  
庶務係長  
島尻 智子

## スノーボードにはまる

23歳頃でしたかスノーボードにはまり、現在も続いています。始めた頃はスノーボードと呼ばれて単なる遊びの域を出ず、こんなにはまるとは思いも寄りませんでした。その後真剣にやってみる人の間で正しくスノーボードと呼ばれるようになったので、私もスノーボードのほうで、いい加減な遊びのつもりはありません。

外力、荷重、角付け他、雪面への対し方など勉強していくと奥が深く、うまくならない！という気がしだいに強くなりました。でも滑れるのは冬しかないので冬を待ち遠しく思っていました。女性師匠から、夏でも冬に向け身体を鍛えるよと声を掛けられ、フィジカルトレーニングをしながら山形まで行ったこともありました。

スノーボードは滑りも楽しいし、出会う仲間も素敵な方ばかり。まもなく来る暑い夏が待ち遠しい。冬向けトレーニングをがんばるぞーッ！

## 理事会報告

### ◆第9回 平成28年1月27日

#### 〈会議内容〉

- ・承認事項
- ・入会者の承認について

#### 〈2〉議案事項

- ・議案第3号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター特定個人情報情報の取り扱いに関する基本方針の制定について
- ・議案第4号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター特定個人情報取扱規程の制定について

#### 〈3〉報告事項

- ・事業実施状況報告について
- ・未収金について
- ・予算執行状況について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

### ◆第10回 同年2月24日

#### 〈会議内容〉

#### 〈1〉承認事項

- ・入会者の承認について

#### 〈2〉議案事項

- ・議案第5号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター職群班設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・議案第6号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター松戸市介護予防・日常生活支援総合事業訪問型生活支援サービス運営規程の制定について

#### 〈3〉報告事項

- ・事業実施状況報告について
- ・平成28年度事業計画（案）について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

### ◆第11回 同年3月16日

#### 〈会議内容〉

#### 〈1〉承認事項

- ・入会者の承認について

#### 〈2〉議案事項

- ・議案第7号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター平成27年度第1回収支補正予算について
- ・議案第8号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター平成28年度事業計画について
- ・議案第9号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター平成28年度収支予算について
- ・議案第10号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター職員給与規程等の一部を改正する規程の制定について

#### 〈3〉報告事項

- ・事業実施状況報告について
- ・役員賠償責任保険の加入について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

## 事務局からお知らせ

### ▼就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務所で行っております。お気軽にご相談ください。

また就業情報は、センター事務所の掲示板やセンターのホームページでもお知らせしています。

### ▼平成28年度正会員・賛助会費の納入について

会費未納の方は早急に納入をお願い致します。コンビニエンスストアでお支払いができるよう圧着ハガキをお送りしています。金融機関よりお振り込みされる場合は左記口座へお願い致します。

振込先 千葉銀行小金原支店  
普通口座 3029246  
公益社団法人松戸市シルバー人材センター理事長  
龍谷 公一

### ▼就業報告書の提出期限を守ってください

就業報告書の提出日は翌月3日までです。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。

(※やむを得ない方はファックスでのご送付頂くと、期限内なら当月扱いとなります。)

### 【定時総会開催のお知らせ】

平成28年度定時総会  
・日時 平成28年5月27日  
(金曜日)午後1時  
・場所 松戸市民会館

### ▼高齢者の生活支援事業始まる！

介護保険の改正に伴い、平成28年3月から、松戸市の訪問型サービスモデル事業が始まり、生活支援事業の一部を私たちのシルバー人材センターが担うことになりました。高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できるようにお手伝いするため、今年の2月に会員31名が研修会に参加しました。

事務局 金子彌生

### 年に一度、松戸市の各種「健診」を受けましょう

特に癌は早期発見がポイントです。定期的な受診が早期発見につながります。

### ★安全標語★

気がつかぬ 体の衰え 怪我のもと  
(公益社団法人松戸市シルバー人材センター)  
気のゆるみ 急ぐところが 事故の元  
(公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会)  
見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験  
(公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会)

### 配分金支払日

(H28年)  
5月20日(金)  
6月15日(水)  
7月15日(金)  
8月15日(月)  
9月15日(木)  
10月14日(金)  
11月15日(火)  
12月15日(木)

### 地域社会を担うシルバー人材センター「賛助会員」募集中

松戸市シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者に就業機会を提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図っております。同時に多様な仕事を引き受けて活力ある地域社会への貢献をめざしておりますが、何よりも地域社会の篤いご支援こそ必要です。そこで「賛助会員制度」を設け、皆様方のご協力を仰いでおります。

つきましては本制度の趣旨にご理解ご賛同を頂き、本会員にご入会されて、センター事業の一翼を担って頂きたい。心からお願い申し上げます。会費は次のようにさせていただきます。たいていあります。

○個人会員 年会費(1口) 1500円  
年会費(1口) 3000円

○法人会員 年会費(1口) 3000円  
ご入会後は会報「はっらつ松戸」を発行の都度お送りし、同誌にお名前を

掲載します。

お申し込みの詳細については、当センター事務局までご連絡頂きたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

連絡先 330・5005

### ●平成27年度事故状況●

平成27年度  
・事故件数 17件  
・傷害事故件数 7件  
(就業中6件、就業途上1件)  
・賠償事故件数 10件  
・平成26年度  
・事故件数 12件  
・傷害事故件数 6件  
(就業中4件、就業途上2件)  
・賠償事故件数 6件(同月比)

## 特集 仕事 私の心構え

「新年度が始まりました。新しい仲間も加まりました。職場での仕事の成否は一に各人の仕事の姿勢といふべき熱意と心構えにかかっています。今回はそうした心構えを皆様から頂きました。新人は先輩の良きところを学び、先輩は新人の初心を参考にし、お互

いに今後の仕事に活かして頂くようお願いしています。」



### ▽植木班△

◆短時間で丁寧な11班 的場憲一

シルバー会員になって以来、植木剪定の就業をしています。一般の植木屋さんは一人で何日もかけてお庭を仕上げますが、私の場合は仲間と気持ち、力を合わせて、できるだけ短日で終わるように心がけています。また和気あいあいだけでなく、お互いに刺激しあいながら、早い時間に現場へ入り、作業は丁寧にお客様にも喜んでもらって帰ることとしています。

### ◆お客様の満足を第一に

1班 久保島信太郎

お客様に満足して頂けることが私の信念であり、一番の目的であります。自分のやりがいは一にも二にもお客様満足が得られる時であると常に考え実行しています。

子供の時から森林を駆けずり回り、植木採集に熱中するほど植物を扱うのが好きでしたし、今までも自家の植栽手入れは勿論、頼まれれば親戚や近隣の邸宅の刈込み・剪定

を手がけてきました。そんな経緯でこんど当センターの会員登録をさせて頂き、先輩方のご指導のもと現場をこなしつつ、通信講座も受講し、「庭園管理士」認定も得ました。

常に心がけておりますのは、お客様のご満足を得られるよう、丁寧なご挨拶と丁寧な仕事を実践することです。お客様からきれいに出来たとご満足の言葉を聞いた時が目的が得られた瞬間と認識しております。そのため今後も丁寧な仕事の実践と仕事の品質を高めるために、同僚との秩序の維持と和を保つことは大切な要素と考えております。



### ▽運搬△

### ◆作業の安全も計画の内

2班 齋藤次郎

私の仕事はゴミの運搬です。植木剪定や除草など草取り作業後に出たゴミを市の処理場まで運びます。

トラックに一人乗務で作業現場に行き、ゴミを車に積み込むのですが、現場では会員の方々が手伝ってくれます。時には作業終了後で誰もいない現場もあり、束ねられたり袋に入っていたりしますが、重さが30キロ以上のもあり、結構体力が必要で、シルバー

の仕事かなあとと思う時もあります。後片付けなので午後集中するのですが、処理場の受付が4時までと定められているので、仕事11時間の配分を考えながら行わないと、今日中の処理に間に合いません。仕事の内容については特別に決まりなどないので、自分で内容を組み立てて行っています。市内全域が仕事場で、個人住宅では狭い道路や路地もあります。作業依頼を受けた現場の近隣の方から、積み込む際の車の駐車や地面の汚れなどの苦情もあります。

運搬の仕事は月に10日くらいの割ですが、天候の理由で当日の朝9時にならないと分りません。運転は勿論、作業上の安全を自分の仕事と心得、一日一日やっています。



### ▽駐輪場△

◆当たり前こそ難しい

5班 和田安弘

松戸駅東口駐輪場が仕事場です。私は次の4点をいつも念頭においています。

- ①接遇力の向上
- ②売上金の管理
- ③場内の適正な自転車管理
- ④情報の共有化

メンバーが足並みをそろえること

以上どれをみても当たりまえのことなのですが、実際はそう簡単ではない内容です。

しかし緊張感を持って、仕事ができるということは、とてもいいことです。

### ◆剣道や茶道の極意で

3班 山本博之

私の仕事の心構えは「守・破・離」です。剣道や茶道の修業の段階ですが、シルバードの就業も同様と思います。

「守」は、新しい仕事のこと、その職場での諸先輩の教え、規則などを守り、安全作業の方法、技術その他を確実に身に付ける段階。

「破」は、他の同様の職場の先輩や同僚らの仕事の進め方、実践方法等を見聞きして考え、良いものを取り入れ、自己研鑽をする段階。

「離」は、今まで学んできたことから、ムダ、ムラ、ムリな面を取り除き、独自の新しい作業方法を確立し、後進の指導にも役立てる。必要に応じて業務改善提案を行う。当センターで就業して5年、何とか「離」の半ばまでたどり着きました。

### ◆対話で二丁の把握を

3班 武山孝義

私は今スーパータいらやの駐輪場で働いております。馬橋西口駐輪場で5年間の仕事を終え、民間の会社を紹介して頂き、2年目になります。

仕事は少しきついですが、お客様との対話が楽しく、少しでも喜んで頂けることを心がけております。現在男性・女性のお客様併せて10名のリピーターができました。

親切丁寧な仕事は何よりも大切であり、そのことがお客様の信頼を得ることにもつながります。地域社会からのニーズの把握に努めると同時に、会員自らもそれぞれの地域において、長年培ってきた経験、知識、技術を活かし提供していくことが必要であり、自身が地域社会の支えとして、一人ひとりのお客様の安心安全に徹して、毎日お店に来て頂けるようにと願っております。その日のお店の目玉商品を紹介したり、お客様のお買い物を必要に応じて自転車までお運びしたり、お帰りのお客様へは必ずお気を付けてお帰りをお声かけし、無事にお宅まで着くことを祈ります。あなたが居てくれるから安心だと思つて貰える仕事をと、毎日心がけています。

### ◆子どもに学ぶふれあい

1班 比屋根泰夫

駐輪場での何気ない言葉かけとふれあいを大事にしたい。子どもは正直です。笑顔で視線を合わせると安心して笑顔を返してくれます。濁りのない澄んだ瞳に、私の心も温まります。笑顔は人の警戒心を取り払ってくれます。はじめはにやにやしている子も、出合いが重なると子どもの方から話しかけてきます。手にかく触れる、握手する。子ども

の手の柔らかい温もりが伝わってきて親しみも湧き、親の笑顔まで誘い出します。子どもって理屈抜きで素敵です。お年寄りが「孫は眼に入れても痛くない」と言う気持ちがよくわかります。駐輪場でお年寄りや子どもは、孫のいない私の大きな幸せです。



### ▽事務△

### ◆当センターの名称に思う

主事 須藤吉康

〈KEEP YOUR NAME IS CLEAN〉

直訳すれば「名をきれいに」だろう。卒業の時に担当教授から頂いた小さな名刺入れに金の刺繍でそう縫い取りが

してあった。社会に羽ばたく若者に対する小さな贈りものだったが、師の贈る言葉は大きなものだった。「ゆつくり飛びなさい、大きく跳びなさい、何よりも真つ直ぐに羽ばたきなさい。」正直、当時はピンとこなかった。

だが社会に出て、人と会う度に頂いた名刺入れは重みを増していった。これが社会や人との繋がりといいものだろうか：いつしかズボンのポケットに入れるのはしのびなくなり、背広の内ポケットに大切にしまい込んだ。

この頃ふと、あの英単語を思いだす。意識すれば「名前を大切に」か。古来より日本には「言霊（ことだま）」という考え方があつた。言葉には魂が宿るという意味だ。ここ、松戸市シルバード人材センターも、「松戸市」という地名と「シルバード人材センター」という熟語で一体をなし、そこに魂が宿っている。私は当センターの庶務係に配属になり、何年か過ぎ、この名称を自署で記入する機会が増えてきて、どちらに傾いても名称は体をなさないと思うようになった。今になって、あの名刺入れの英単語の意味が少しずつ分かってきたような気がする。「名に恥じぬよう、

汚さぬよう」…あの語の適訳はこれではないかと。

これからも「松戸市」と「シルバー人材センター」が重なりあった「松戸市シルバー人材センター」の〈言霊〉に恥じぬよう、汚さぬよう、負けぬよう、しっかり名称を記入することにしようと思う。



### ▽趣味△

#### ◆花は種から咲かせたい

9班 渡辺 昇

パンジー、デイジー、マリゴールド、キンセンカ等を種から育てるのが趣味です。

いちばん難しいパンジーの場合を紹介いたします。発芽温度は20度前後。秋の彼岸ごろ種まき用土（無菌）を使用し、約40センチ四方の発砲スチロールの底に穴を開け、一回り大きい発砲スチロールに納め、日陰の涼しい場所です、下からの底上げ給水をします。発芽後は底上げ給水をやめ、日当たりの良い場所で、液体肥料を随時やりながら成長を促し、本来は仮植、本植の順ですが、私は一回でプランター等に植え替えます。

開花は大体翌春です。品種も〈虹色スミレ〉など好き好き。パンジー以外でも種まき時期が違っただけで要領は同じ。

花の種類によつては「好光性種子」（ストック、サルビア）があり、覆土は微量にします。

本植えの用土は、赤玉土と腐葉土を混ぜ、元肥は「マグフアンK」などで、随時、液肥や顆粒の追肥をやりまます。キンセンカは種が出来やすく、こまめに花柄を摘んだら、春から冬まで咲き、驚きました。

#### ◆健康はパークゴルフで

7班 盛 英雄

健康面を考えてパークゴルフ（PG）をやっております。PGは北海道が発祥です（昭和58年幕別町）。PGを始めたのは小学校卒の古稀同級会に出席した時の様似町アポイ山麓PG場からです。ルールはほぼゴルフと同じ。1ホール3〜5打の標準打数11パーが設定され、クラブは1本でプレーします。プレー費は18ホール1千円程度です。

近くの主なゴルフ場はオスカIPG（船橋市）、茜浜PG（習志野市）、遊楽PG（白井市）、扇PGなどで、残念ながら本市にはありません。私のスコアは26〜35程度。常時26〜29になるよう秘密の練習場で日々練習しています。市民の体力・健康増進のために本市にもPG場の建設をお願いしたいと考えています。

#### ◆散歩が健康のもと

6班 植田 東洋治

健康のため散歩を続けています。四季折々生きものに出会える楽しさ。旅の途中で羽根を休める渡り鳥の表情や仕草がとても愛らしい。散歩だけでは勿体ないので、双眼鏡とカメラとメモ帳を持参します。あ、カワセミだ！生きものも生活のために餌場、ねぐら、パートナー選び、子育てとかなかなか大変な様子。こうした生きものが見られる自然環境を永く守っていききたいです。



### △思い出△

#### ◆上京するのが夢でした

2班 酒井 鈴子

新潟県古志郡高山、雪深い山と信濃川の間に挟まれた小さな村で育ちました。10月から3月まで冬の半年は年寄りと子供だけの生活。若い女性はミカン列車で静岡へ。三冬働くと花嫁支度が出来ます。男性は酒造りで約半年の出稼ぎ。お正月2日間は両手に持ち帰るお土産が何よりの楽しみで、指折り数えて待ったものです。大人になって上京するのが私達の夢でした。

中学を卒業して洋裁学校に2年行き、上京して洋裁店で働きました。当時は東京まで汽車で8時間でしたが、今は新幹線で1時間40分です。時代の流れに驚いていたら老人になっていました。今シルバー人材センターでお仕事をしながら、いろいろな人に出会うのが楽しみです。健康を維持してもう少しお世話になりたいと思います。

#### ◆思い出の夫婦縦走

8班 佐々木 和子

私たち夫婦が「山の会」に入会したのは主人が70歳の時に2回の日帰り登山の会で

した。7月に槍ヶ岳に3泊4日で行く計画が発表され、私も思いきって参加することにしました。

3千メートル級の北アルプスに登れるなんて夢のようでした。リーダーのあとをひたすら登り続けること8時間余り。頂上に着いた時は、感動と達成感で涙が止まりませんでした。その後中央アルプス、南アルプスを6年かけて縦走したことが、今ではよき思い出となっております。



### 地域班活動

#### ○認知症サポーターの養成講座を開催

座を8・9班

高齢化社会の大きな問題として近年深刻度を増しているのが認知症です。そこで両班は福祉の一環として認知症を正しく理解し、サポートできる知識を得るために、松戸市役所高齢者支援課による出前講座を開催しました。将来誰もが避けて通れない？認知症

がテーマのせいか、36名の参加者があり、約2時間熱心に聴講しました。

そのあと当センターの龍谷理事長、古宮事務局長、鈴木事務局長補佐に参列して頂き、センターの現況と今後について話して頂きました。

棚井友幸（8班）

### ○お花見盛大に 3班

当班第1回目のイベントとして4月2日（土）、お花見を実施しました。場所は古ヶ崎の九重マシヨン前の広場。当日は大曾根・小林両理事、他に班長、副班長、会員ら20名に、日頃お世話になつてゐる近隣の方々10名の計30名が参加しました。

昨年は雨に祟られました。今年は花冷えの曇天ながら桜は満開。参加各位の熱気で肌寒さも吹っ飛び、かつ女性会員のおもてなしの豚汁が、身体を温めてくれました。就業状況の話題、各人の近況報告など話し合いにも花が咲き、参加して良かった、知り合えてよかったの言葉が心に響いた花見会でした。

山本 博之（3班）

### ○戸定邸と千葉大園芸学部の見学 5班

まれにみる好天の4月1日

（金）、25名の参加で実施しました。松戸シティガイドのボランティア2名の案内で戸定邸と歴史館を見学。妖艶な紅枝垂れ桜の下で記念撮影。普段は閉まっている緑の回廊をボランティアさんに開けてもらい、大学構内へ。桜花爛漫の下、ベルサイユ宮殿を模したフランス式庭園とイタリア庭園などを観賞しながら散策しました。学生食堂で昼食と懇談ののち解散しました。

谷地田 由夫（5班）



## 部会活動

### ○春季清掃活動を実施

ボランティア委員会はポカポカ陽気の3月22日（火）、9時から12時まで、恒例の春の清掃活動を実施しました。参加者は会員31名、地域班協力者8名、センター側から龍

谷理事長を含め4名の合計43名。作業は馬橋駅西口から当シルバー人材センターまでの道路を2班に分けて進めました。作業中、行き交う市民の方から「ごくろうさま」などの声を掛けて頂きました。またバスの停留所では高齢のご婦人から、生活援助サービスについて質問がありました。家具の移動、窓ガラス拭き、風呂場や室内外の清掃、雑草取りなど何でもご相談下さいと答えました。収集したごみは80袋もあり、種類毎に分別して袋に詰め直しました。作業後、センター2階会議室で、理事長、事務局長からねぎらいの言葉があり、懇親会を和やかに行いました。

ボランティア会員を募集中です。多くの方のご参加をお待ちしています。

## ★会員のひろば★

### ○「家事援助講習会」に参加して

して

吉田 園江（8班）

表題の講習会が3月22日、シニア交流センターで開催され、初めて参加しました。

「楽しく仕事をするためのマナーと清掃技能の基本」という題で、講師は響城れいさん。ハウスクリーニング歴20

年のベテランです。

私は昨年10月に入会し、これまで何度か掃除の依頼を受けました。「とにかくきれいにしなくては」の思いが強く、現場で完全燃焼し、帰宅してどっと疲れていましたが、先生のお話は目からウロコの2時間でした。

「過去に責任を持たなくて良い。今日から先、お客様に幸せになって貰えば良い」「手に付く汚れは落ちる。付かない汚れは取れなくて良い」「汚れよりはお客様を優先する。笑顔で声をかけながら心配する、感謝する、ハッピーな気持ちで仕事をする。」参加して本当に良かったです。

### ○認知症サポーター養成講座を受講して

今田 尚俊（8班編）

認知症は老化による物忘れと違い、脳や身体の疾患が原因で記憶や判断力などに障害が起こり、自立した生活を送れない状態をいう病名であることは、以前本誌47号で一部記載しました。

今回開講直後に、この講座は認知症の方をお世話する介護方法を学ぶものではなく、認知症に関する正しい知識と理解を身につけ、偏見を持たず、認知症の方やその家

族を温かい眼で見守る地域の応援者になって頂きたいと話されました。日常生活の中で、認知症の人と出会った際、普通の年寄りと同じ対応をする、認知症の人が混乱するところがあるそうです。認知症が病気であることを理解し、心を傷つけない、つまり相手の自尊心を損なうことなく対応することが、その人並びに介護する家族の支えに繋がることを力説されました。

講座の後半では、講師2人が認知症の方と認知症サポーターとに役割を決めて、日常の声かけに始まる対応場面をロールプレイング（役割演技）技法による実演がありました。実演終了後は演技者の感想を聞き、受講者の我々にも意見を求められました。講座は単に知識の習得でなく、実際の場面で適切な対応ができることを目的にしている真の狙いに思い至りました。

講座修了後、認知症サポーターの目印として頂戴したオレンジリングを前に、「周りに頼る」「人生を送らねばと決意を新たにしたい次第です。

### ○襖張り講習会を開催

藤田 弘之（1班）  
3月15日から3日間、網戸・

障子・襖張りの講習会を行いました。参加者27名。皆さん初心者と思えないくらい短時間で上達し「すごくよかった」と嬉しい言葉を頂きました。

## 同好会に入りませんか

### ■手工芸同好会

会員は現在15名。シニア交流センターまつりには作品を展示販売しています。

連絡先／高橋久子 (5班)

(電話) 367・2317

### ■グラウンド・ゴルフ同好会

28年度大会予定 (金ヶ作公園) 第1回9月中旬/第2回11月中旬/第3回12月中旬  
開催日時は1カ月前に葉書で。

連絡先／中川忠興 (12班)

(電話) 386・7433

### ■フラダンス同好会

毎月第2月曜、午後1時から上本郷のお店「グランプリ」で。参加大歓迎。

連絡先／小竹和子 (5班)

(電話) 360・2778

### ■囲碁クラブ

毎月第2金曜日定例会、市民会館305号室 (ながいき室) 連絡先／高橋 公 (5班)

(電話) 364・2390

### ■絵本読み語り同好会

当会は松戸市の子供たちの施設、親子de広場、保育所、その他の施設で絵本を読んで

います。命の大切さ、思いやりの心を育むことを次の世代に伝えてゆくために。挑戦する方募集中。

連絡先／島田忠巳 (7班)

(電話) 341・3544

### ■カラオケ同好会

毎月第3木曜日の正午から稳台駅前のカラオケ喫茶「花」で。どなたも大歓迎。

連絡先／小林久芳 (5班)

(電話) 367・6579

### ■松明麻雀クラブ

麻雀は脳トレ・老化防止に最適。禁酒禁煙、賭けはなし。毎月第1・第4土曜/場所はセンター2階会議室/年会費1千円/参加費1回2百円

連絡先／金井八重子 (3班)

(電話) 360・0778

## 詩歌はたのし...

### 俳句

白土貞夫 (3班)

安房上総西も東も晴れ渡り磯海苔を焼いて餅喰うお正月寒びらめ慌てる君は指かまれ少年の育つ証や布団干す春の雨昨日は寒し今日温し

田中義明 (2班)

人生は紙ヒコキ 虹かなた五月来るムンズンズバリ腕相撲さつき風ビィアンビシヤス悪老連

森はいまパイプオルガン雪解川やっぱりねこうなるわけね花ざくろ

若井正幸 (8班)

新春に参賀を終えて静心寒牡丹菫の庵にたおやかに梅一輪風頻刺すも陽柔らかに

松本有介 (9班)

轉りやたまゆら灯す耳の闇ラ・フランス ピアフの歌の浮かび来ぬ

五月来る一馬身差にどよめきて昼顔の声にまどろむ齡かな

島田忠巳 (7班)

青墨の天地の稜や葱坊主春昼やスクリーンセーバー目で追ひぬ

不明者を捜すかに舞ふ紋白蝶ふらここや隣の座席揺れだせり春風や土偶と秘かに笑ひ合ふ

### 川柳

佐々木幸紀 (2班)

「はっらつ」を読んで感じる仲間の輪白い髪茶色に染めてフィットネス老いて行く我を励ます庭の松

老沼正一 (12班)

錠剤の取り調べする毎食後母の手を忘れてしまう無洗米断捨離の戦を止める古写真一円もお負けはしないバーコ

## 短歌

小倉美枝子 (2班)

遠く来て街に迷っているわたし口に浮かぶはひなまつりの歌

揺れあふは語るがごとし桜草

根岸敦子 (2班)

このところ時が止まったかのような我に返りて我身を喰う十年来頼りの医師の退職す願うテレビのドッキリであれと

## ★28年度の行事予定

・5月 定時総会 (27日)

クリーンデー参加 (29日)

・6月 センター普及啓発活動

・7月 安全・適正就業強化

・10月 松戸まつり、クリーンデー、ご長寿ハッピー

・11月 コンテストに参加

・シニア交流センターまつり

## 次号の投稿大募集!

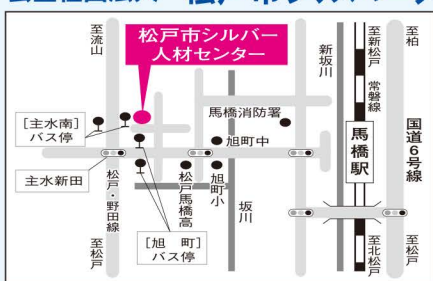
特集は引き続き「私の思い出」(ふるさと) (趣味) (自慢)と仕事の取組みを募集。文章・写真いずれでもOK。締切・本年8月11日まで。(編集部)

## 編集後記

桜の花を素直な気持ちで愛でることができるようになるまでは、ずいぶんの歳月を必要としたが、ここ30年ほど3月の声を聞き、更に4月が近づくとつれて、カレンダーと地図を開いて嬉しい悩みの日々が続く。各地の桜には歴史と暮らしに密接な関わりが多くあり、その由来等を知るのも「桜旅」の楽しみである。

●私的厳選5桜 (☆印は夜桜)  
◇小岩井農場 (岩手) ◇合戦場の桜 (福島・二本松) ☆福聚寺 (福島・三春) ☆高台寺 (京都) ☆円山公園 (京都) (岡崎編)

## 公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



〒271-0043 松戸市旭町一七四  
TEL 0477-330055  
FAX 0477-330058  
・月曜日から金曜日  
午前8:30～午後5:00  
・土・日・祝日及び年末年始は  
お休みです。

※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。  
JR馬橋駅西口より徒歩25分・JR馬橋駅西口発(京成バス)松戸駅行き 旭町下車3分